

2019
MPC
award

特別賞

株式会社富士通交通・道路データサービス

「トレーラ管理サービス」

通信手段を持たないトレーラの動態・積荷を見える化

物流に使われる車のうち、運転車（トラック）と荷台（トレーラ）の組み合わせにおいては、車載器および電源設備のないトレーラの動態管理は難しい状況にあった。

富士通交通・道路データサービスでは、バッテリーフリーのBluetoothビーコンを開発し、クラウド上でのトレーラ管理を可能とした。

車の運行時は、トレーラに取り付けたビーコンと、ドライバーのスマート端末の情報をもとに、トレーラの位置情報や荷物運搬状況、整備・点検情報などを可視化する。

さらに、ドライバーがトレーラの牽

引・切り離し時にスマホから情報を入力することで、これまで集めることが難しかった貸出先や遠隔地にあるトレーラの情報も簡単に一元管理できるようになった。

企業間でトレーラを共用利用して空車の走行をなくしたり、多くの荷物

を運搬できるトレーラを有効活用し、物流業界の効率化が期待される。

利用企業からは、「事故や渋滞時の現状把握が容易。荷主からの問い合わせにも対応できる」「稼働率向上を図ることができる」などの成果が報告されている。

図 トレーラ管理システムのイメージ

